

## 平成 22 年度事業報告

〈総会〉 FSRJ 平成 22 年度総会（平成 22 年 6 月 8 日）於：日本大学理工学部

〈研究発表会・講演会〉

国内 ・ FSRJ 第 2 回夏季研究発表会（平成 22 年 9 月 21～22 日）於：千葉大学

・ 高分子学会グリーンケミストリー研究会 合同討論会（平成 22 年 9 月 15 日）  
於：北海道大学

国際 ・ 国際会議 PACIFICHEM2010

-The 2010 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies-  
(Session : Recycling of Polymeric Waste Materials : Challenges and Perspectives #86)  
(平成 22 年 12 月 18 日) 於：ハワイ・ホノルル

〈表彰〉 平成 21 年度 FSRJ 表彰式（平成 22 年 6 月 8 日）於：日本大学理工学部

- ・ 功労賞 奥 彬氏（(財)生産開発科学研究所）
- ・ 研究功績賞 澤口 孝志氏（日本大学）
- ・ 技術功績賞 隅田 憲武氏、福嶋 容子氏（シャープ(株)）
- ・ 研究進歩賞 岡島 いづみ氏（静岡大学）
- ・ 研究進歩賞 関根 泰氏（早稲田大学）

〈広報〉 FSRJ ニュースレターNo.19 発行（平成 22 年 9 月）

FSRJ ニュースレターNo.20 発行（平成 22 年 11 月）

〈幹事会〉 FSRJ 第 1 回幹事会（平成 22 年 6 月 8 日）於：日本大学理工学部

FSRJ 第 2 回幹事会（平成 22 年 9 月 21 日）於：千葉大学

FSRJ 第 3 回幹事会（平成 23 年 4 月 27 日）於：住友六甲ビル

〈共催・協賛〉

平成 22 年度廃棄物資源循環学会（リサイクル部会）研究討論会（協賛）  
（平成 22 年 5 月 20 日～21 日）

高分子学会グリーンケミストリー研究発表会（協賛）（平成 23 年 1 月 14 日）

## 平成 22 年度 FSRJ 賞

総会資料(平成 23 年 6 月 20 日)・平成 23 年度事業計画に記載の通り、平成 22 年度 FSRJ 賞の表彰を執り行いました。なお、功労賞受賞の Walter Kaminsky 教授は表彰式に欠席のため、今秋開催される国際会議 ISFR2011 の場を借り、あらためて表彰を行う予定です。また、(株)アルティスの久松様は表彰式に欠席のため同社の中村様に代理で受賞・ご講演いただきました。受賞された皆様からお言葉を寄せていただきましたので、表彰式の写真(欠席の方は肖像写真)とあわせて掲載致します。

### 功労賞

ハンブルグ大学 Walter Kaminsky 殿

「FSRJ の発展とプラスチック・リサイクル化学の研究に  
比肩なき国際的貢献を行った功績」



### 技術功績賞

(株)アルティス 久松 裕明 殿

「医療系廃プラスチックの熱分解油化技術開発と  
リサイクルシステムの構築」

この度は、「技術功績賞」を賜りまして、心より御礼申し上げます。

バーナ開発やシステム自動化をはじめとした弊社の滅菌/油化处理技術の最適化にご評価戴きましたこと、関係者一同、身に余る光栄でございます。

熱分解油化技術を応用した、医療系廃プラスチックのリサイクル事業を通じて、より環境に対する負荷を抑え、より安全・安心な方法で循環型社会の実現に寄与しながら、新たな挑戦を続けて難題を克服していくことで皆様のご期待に応えられるよう努力してまいります。

今後とも皆様のより一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



## 研究功績賞

九州工業大学 西田 治男 殿  
「循環型プラスチックの研究と実証」

この度、プラスチックリサイクル化学研究会より、研究功績賞を授与していただき、心より御礼申し上げます。また、本研究に関しては、九州工業大学および近畿大学の多くの共同研究者の皆様のご協力によるものであり、ここに深く感謝の意を表します。

バイオマスの有効利用に関する研究はこれから発展すべき状況にあり、マテリアルとしての循環利用については、未だフロンティアに満ち満ちた分野です。単にカーボンニュートラルという特性に甘えず、材料として資源循環する科学技術を、諸先輩方の知恵と若い研究者の柔軟な発想とともに力を合わせてさらに進めていきたいと思いをします。



## 研究功績賞

豊橋商工会議所 村田 勝英 殿  
「ポリオレフィン熱分解化学の反応工学的研究」

このたびは研究功績賞受賞という荣誉に浴し、たいへん光栄に存じます。講演資料を作成するに当たりこれまでお世話になった数多くの方々に思いを馳せました。この場をお借りして改めて厚く御礼申し上げます。40年前に低重合度ポリエチレンの熱分解装置の開発に携わって以来、高分子の熱分解に関わるいろいろな課題に立ち向かってまいりましたが、今回の受賞で一区切りついたような気がします。ありがとうございました。



## 研究進歩賞

日本大学 平野 勝巳 殿

「石炭由来成分を用いた廃プラスチックの  
脱塩素および再資源化」

この度は小職らの研究に対して過分なご評価を賜り、大変恐縮しております。小職は従来より石炭やバイオマスなどランダムな構造を有する高分子炭化水素化合物の分解、改質の研究を行っており、今回対象となったプラスチックリサイクルの研究については未だ新参者です。同分野のオーソリティが集まる本研究会においてこの研究が評価されたことは、小職らにとって大きな自信になると共に今後の励みになります。これをビギナーズラックとせず、少しでも同分野に恩返しができるように研究を継続する所存です。今後とも皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

